

機能性色素セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment01/>


3つの強み

「有機合成技術」「精製技術」を絶えずミガキ、未来の豊かな暮らしを支える新たな事業領域へ果敢に挑戦する力

- 有機EL材料のトータルサプライヤーとしての技術を次世代医薬向けバイオ材料にも展開
- メタルフリー化により環境にも対応した、世界シェアでトップクラスのアルミ着色用染料
- 食の安全を支える天然色素と世界オンリーワンのカラートリートメント染料

事業内容

● 有機EL材料

スマートフォンのディスプレイ需要は拡大中であり、今後はタブレットやノートPC、モニター等のITデバイス分野への展開も期待されております。また、有機EL材料の応用技術として独自開発したバイオ材料は、これまでの「診断キット材料向けオリゴ核酸製品」に加えて、次世代医薬品である「核酸医薬原料向けオリゴ核酸製品」へも展開しております。

● イメージング材料

複写機やプリンターの機能発揮には欠かせない重要な材料であり、OA環境の高精度化に貢献しております。

● 色素材料

独自の技術による染料製品が、高品質品として国内外から高い評価を得ております（アルミ着色用、文具用、カラートリートメント用、カラーフィルター用等）。

● 天然色素

食品に色を添え、食欲を増進させる等重要な役目を担っており、保土谷化学はそのパイオニアとして、食品の演出に貢献しております。また、家電等の着色にも使用されており、環境に配慮した用途を拡大しております。

メタルフリーアルミ着色用染料

アルミニウムは軽量で強度に優れ、リサイクルもしやすく、アルミ着色用染料の需要も拡大しております。保土谷化学では、長年の有機合成技術を活かし、環境と人に優しい染料として、重金属を用いずに優れた耐光性・染色性を持つ「メタルフリーアルミ着色用染料」を製造・販売しております。環境に配慮し、耐光性・染色性が高く、多彩な色表現を可能とするアルミ着色用染料のニーズに応えていきます。



中期経営計画での基本戦略と取り組み

前中期経営計画では、有機EL材料事業のスマートフォンを中心としたディスプレイ分野での需要が堅調に推移したことや、色素材料事業のアルミ着色用染料の需要好調に伴う販売拡大により、本セグメントの売上高は伸びました。

中期経営計画においても、本セグメントは当社グループの成長を牽引する重要な役割を担っております。

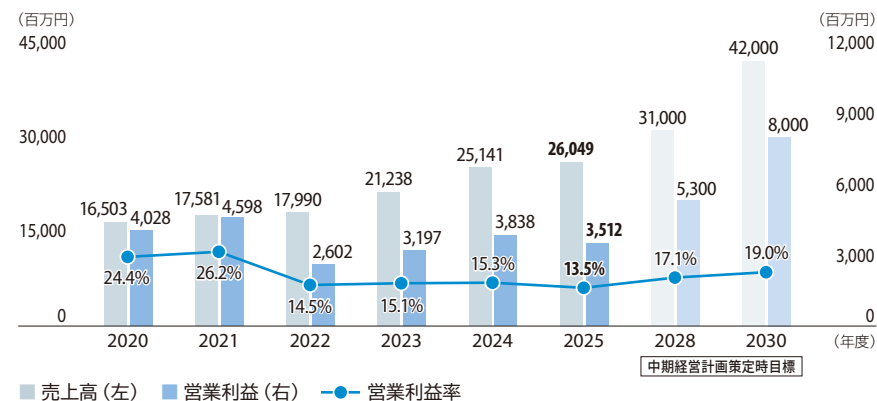
今後の戦略として、有機EL材料事業では、スマートフォン市場におけるパネル需要の再拡大や、タブレット・ノートPCなどへの有機EL採用率の上昇を確実に捉えた販売拡大を推進してまいります。

色素材料事業では、アルミ着色用染料の設備投資などによる供給体制強化と開発加速を中心とした成長戦略を推進してまいります。

また、これまで蓄積してきたオリゴ核酸合成技術や有機EL材料で培った精製技術などを応用し、核酸医薬CDMO事業および半導体材料事業の新領域へも展開してまいります。

国内外での設備投資により、既存事業の深化と新規事業の創出の両輪でグループ全体の成長ドライバーとしての役割をより確固たるものにしてまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社: **SFC CO., LTD.**
事業内容: 有機EL材料、電子材料およびバイオ材料等の製造・販売

所在地: 89, Gwahaksaneop 5-ro, Ochang-eup, Cheongwon-gu
Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, Korea 28122
ホームページ: <https://sfc-dye.com/>

機能性樹脂セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment02/>


3つの強み

「ホスゲン化技術」を核としたグローバル・ニッチトップの地位確立により、人々の豊かな暮らしと環境調和の両立を実現する高付加価値スペシャリティ品を世界へ届ける力

- 世界トップクラスの有機合成技術の駆使により環境への配慮も可能なウレタン原料
- 研究開発・生産・営業の三位一体活動によるホスゲン化技術を活かした医薬中間体
- 特定化学物質未含有による環境対応と安全で確実な施工を可能とする防水材

事業内容

● 樹脂材料

ウレタンに柔軟性や弾性（ゴムのような特性）を持たせるために必要な、PTGと呼ばれる材料が中心となります。ウレタンは、衣類、自動車部材、レジャー用品等の幅広い分野で使用されています。なお、環境に優しく、従来と同等の品質を保つ製品として、主原料を石油系から植物由来に切り替えたバイオPTGに注力しております。

● 特殊化学品

長年にわたり蓄積してきた有機合成技術や独自のホスゲン化技術等を駆使した中間材料や添加剤です。医薬品、化粧品分野など、さまざまな分野のお客様の特殊な要望に、きめ細かに応えております。

● 建築材料

他社に先駆けて開発されたウレタン塗膜防水材がその主軸です。ウレタン塗膜防水材は、オフィスビル、学校の屋上や大型店舗の立体駐車場の屋上防水等、幅広く使用されております。

ODI（ホスゲン誘導体）

剥離剤や塗料、コーティング材の原料である「オクタデシルイソシアネート（ODI）」は、植物油脂を原料としており、世界各地のお客様からのニーズにお応えしております。

植物由来のため、気候変動の原因と言われている環境中のCO₂発生量の増加を抑制しております。

また、2024年4月には、RSPO認証※を取得しております。

※RSPO：持続可能なパーム油のための円卓会議



中期経営計画での基本戦略と取り組み

前中期経営計画では、樹脂材料事業が市況低迷の影響を大きく受け、営業損失が続いており、抜本的な収益改善が急務となっておりました。

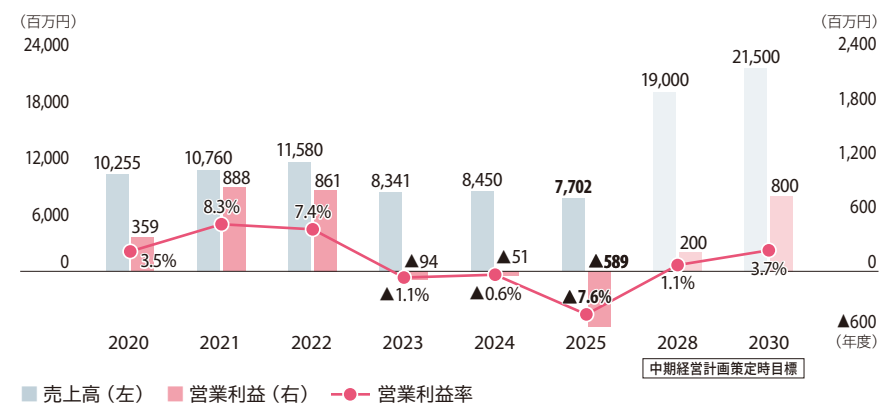
これを踏まえ、中期経営計画では赤字体質からの早期脱却と安定的な資本収益性の確保を目指して取り組んでまいります。

特殊化学品事業においては、事業の強化とさらなる拡大を目指し、ハンガリーのFramochemの持分取得・完全子会社化を決定いたしました。

当社グループが蓄積してきた独自のホスゲン化技術と厳格な安全管理、高度な専門技術により「ホスゲン誘導体」事業を一層強化するとともに、クロスボーダー M&Aの実行を経て、日欧ダブルハブによるグローバル展開をさらに加速させ、グローバル・ニッチトップの地位を確固たるものにしてまいります。

樹脂材料事業および建築材料事業は、将来的な事業再編も視野に入れつつ、まずは特殊品へのシフトによる販路拡大および適切な価格転嫁を徹底し、収益性の改善に最優先で取り組んでまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：保土谷建材株式会社
事業内容：土木・建築材料の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0478 (大代表)
ホームページ：<https://www.hodogaya-cp.com>

関連するグループ会社：Framochem Francia-Magyar Finomkemiai Kft.
事業内容：ホスゲンを主原料とした医薬品原料（API）、中間体およびファインケミカル製品の製造・販売

所在地：Szerviz utca 5, 3700 Kazincbarcika, Hungary
TEL +36-48-311-991
ホームページ：<https://framochem.com/>

基礎化学品セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment03/>


3つの強み

**長年培った過酸化水素の製造技術と
強固な安定供給網を基に、衣食住から先端分野まで、
時代の求める新たな用途へ展開する発想力**

- 蓄積してきた経験・知見に基づく過酸化水素製造技術により、食品分野から半導体まで多種多様な分野へ展開
- 漂白剤、洗浄剤、食品殺菌、動物薬等、幅広い分野への誘導体の展開を実現する研究開発力
- クリーンな物性を活かして、土壌改良等、地球環境に貢献する用途展開を可能にする発想力

事業内容

- 保土谷化学では50年以上にわたって、過酸化水素およびその誘導品を開発、製造、販売しております。
- 過酸化水素は、水と酸素に分解するという特徴から、環境に優しくクリーンな製品として、幅広い用途で皆様の生活をサポートしております。過酸化水素は、従来からの紙パルプの漂白や工業薬品向けだけではなく、動物薬などへの展開により、積極的に販売分野を拡大しております。

- 過酸化水素の誘導品として、過炭酸ナトリウムと過酢酸があります。過炭酸ナトリウムは、漂白剤や洗浄剤として使用されており、過酢酸は、日本で初めて食品分野向けの製造許可を取得し、現在その展開を加速しております。

過酢酸製剤

過酸化水素の誘導品である過酢酸製剤「オキシアタック」（食品向け除菌剤）を2017年に上市しております。野菜や果実、食肉への強力な除菌効果を持ちながら、使用後は酢酸と水に分解され、塩素も発生しない環境重視型製品としてお客様から好評を得ております。



中期経営計画での基本戦略と取り組み

前中期経営計画では、原燃料価格高騰の影響を受けましたが、迅速な価格転嫁や徹底したコスト改善などにより、足元では安定した利益水準を維持するまでに回復いたしました。

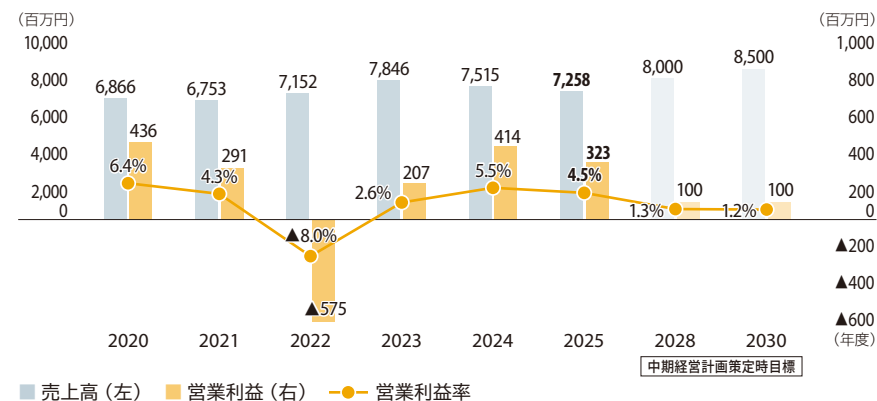
今後も紙パルプ市場の縮小は継続するものの、半導体市場の拡大により、過酸化水素事業は堅調に推移する見通しとなっております。

中期経営計画では、高純度過酸化水素のニーズを確実に捕捉するため、南陽工場に設備新設の投資を行うなど、強固な安定供給体制の構築を進めてまいります。

過酸化水素誘導品は、既存顧客における販売シェアの維持と新用途での積極的な拡販を進めてまいります。

今後とも、市場の需要動向を見据え、徹底した製造コストの低減に努めるとともに、適切な価格転嫁を機動的に実施することで、収益の最大化を目指してまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：桂産業株式会社
事業内容：化学品の仕入・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0490 (大代表)
ホームページ：<https://www.katsura-ks.co.jp/>

アグロサイエンスセグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment04/>


3つの強み

「製剤化技術」をベースとした独創的な製品開発を通じ、環境対応を軸とした新たな市場を共創する力

- ニーズに合わせた新製品開発による国内シェアトップクラスの家庭園芸用除草剤
- 生活シーンを支えるため常に新しい製品を生み出す発想力と提案力
- 農業用酸素供給剤等の展開により農業を取り巻く環境の改善を実現する研究開発力

事業内容

- アグロサイエンスセグメントの製品は、農耕地から生活環境、鉄道、山林、ゴルフ場での雑草、病害虫管理、環境保全に至るまで、幅広い分野で貢献しております。
- 自社原体を中心とした各種原体を活用し、現地、お客様のニーズに合わせ使いやすさと安全性を兼ね備えた新たな製剤開発を継続しており、とりわけ、家庭園芸や緑地管理で使用される除草剤は、業界トップクラスのシェアを誇ります。
- 気象条件等により悪化した土壌環境を改善し、作物の安定生産につなげていくための土壌改良資材として、酸素供給剤の製造ならびに市場開拓も行っております。

酸素供給剤（農業資材）

近年、豪雨・台風等の異常気象が年々増加傾向にあり、農地等への直接の被害に加え、湿害等による農作物の収穫へも影響が出ております。過酸化水素誘導品の農業分野への展開として、悪天候等により劣化した土壌中への酸素供給を通じ、湿害対策として農作物の育成環境を改善するなど、健全な生育を促進する「酸素供給剤」をお客様に提供しております。農地を汚染することのない、環境重視型の製品です。



中期経営計画での基本戦略と取り組み

前中期経営計画では、農業資材分野での拡販が当初想定を下回ったことや、農薬登録における再評価費用の負担が収益低下の要因となりました。

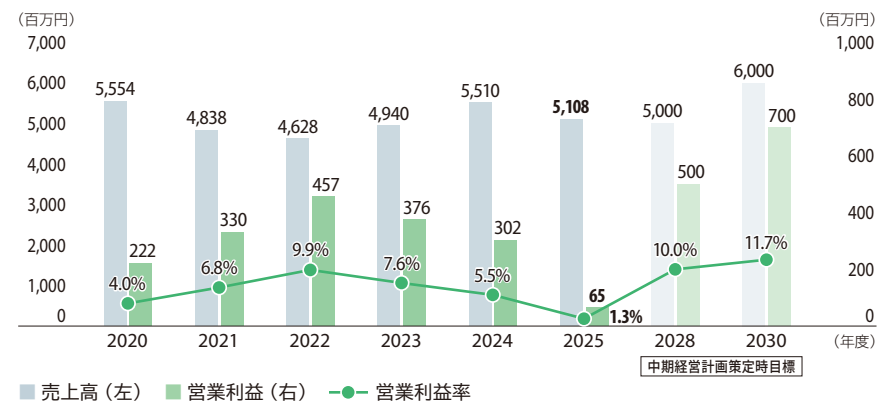
中期経営計画では、既存除草剤の主要5分野（家庭園芸・鉄道・林地・ゴルフ場・水田畦畔）でのシェア引き上げと、公共インフラ施設などの新規市場開拓を推進してまいります。

また、酸素供給剤は「土中環境改善」の新たな価値を訴求し、さらなる用途拡大と拡販に取り組んでまいります。

あわせて、独自の過酸化水素誘導体技術を活かした新規用途の開発も進めてまいります。

今後も事業収益を拡大させるべく、安定供給体制の構築や新規商流の開拓、他社との協業等も含め、魅力ある商品の投入に向け、取り組んでまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：保土谷UPL株式会社
事業内容：農薬の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0500（大代表）
ホームページ：http://www.hodogaya-upl.com/

関連するグループ会社：保土谷アグロテック株式会社
事業内容：農薬の製造・販売

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL 03-6852-0510（大代表）
ホームページ：http://www.hodogaya-agrotech.co.jp/

物流関連セグメント

<https://www.hodogaya.co.jp/products/segment05/>


3つの強み

危険物・化学品の「取り扱いノウハウ」と先進技術の融合により次世代の安心・安全をカタチにする力

- 化学品、医薬品等の危険物取り扱いノウハウを活かし、幅広い物流事業領域に拡大
- 横浜・郡山・南陽の好立地を活かしたエリア最大規模の保管・陸海空輸送サービス
- 南陽営業所におけるISOタンクコンテナデポを活用し国際複合一貫輸送を提供

事業内容

- 物流関連事業は、保土谷化学グループが100年以上蓄積してきた、危険物・化学品等の取り扱いのノウハウを活かしており、化学業界を超えた幅広い分野のお客様から評価をいただいております。
- 横浜、郡山、南陽の3カ所に大規模設備を保有し、特に、横浜営業所は日本を代表する横浜港の近隣という好条件から、輸出入の拠点として多くの

お客様に活用いただいております。郡山、南陽においても化学品、また重量物、機械、プラント等、貨物に適した保管・輸送サービスを行っております。

- 2021年10月より、南陽営業所において、国内では稀少な、危険物・毒劇物のISOタンクコンテナを取り扱う保管・加温事業を開始いたしました。

改正物流二法への対応

保土谷化学グループでは、持続可能なサプライチェーンの構築に向け、発・着荷主の立場から物流効率化を推進しております。荷待ち・荷役時間の短縮や積載率向上に向けた取組みを通じて、物流パートナーである運送事業者の労働環境改善とGHG排出量削減に貢献し、社会的責任を果たしてまいります。

引き続きグループ一丸となって、物流効率化や適正な運送体制構築のために取り組んでまいります。



中期経営計画での基本戦略と取り組み

前中期経営計画では、ISOタンクコンテナ保管事業の伸長や適切な価格転嫁などにより安定的に営業利益を確保してまいりました。

中期経営計画では、危険物および毒劇物の取扱いに特化した倉庫業として、引き続き安定的な需要捕捉と収益基盤を構築すべく、営業所ごとの重点施策に取り組んでまいります。

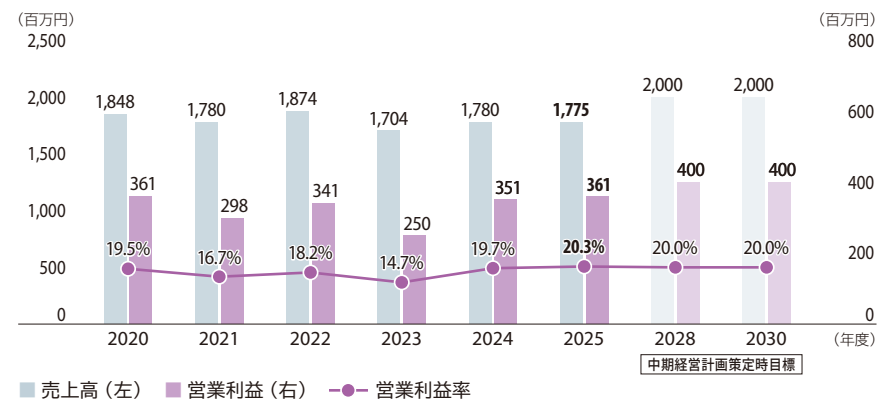
郡山営業所では、危険物定温倉庫の拡充により新規案件の獲得を推進してまいります。

横浜営業所では、新規設備投資や、立地の良さを活かした輸出入案件などの取り扱いを増やすことにより、さらなる収益性の向上を図ります。

南陽営業所では、ISOタンクコンテナ保管事業の本格稼働に向け、新規案件の獲得と事業拡大への取り組みを強化してまいります。

今後とも、化学メーカーにおける物流事業として、危険物・毒劇物の取り扱いノウハウを活かした事業展開とさらなる顧客獲得に向け、取り組んでまいります。

売上高・営業利益・営業利益率



関連するグループ会社：保土谷ロジスティクス株式会社
事業内容：倉庫業、貨物運送取扱業

所在地：〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号
TEL：03-6852-0520（大代表）
ホームページ：<https://www.hodogaya.co.jp/hlc/>